

2023年6月6日発行（通算第110号）

連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8

発行 呑川の会 代表 高橋 光夫

呑川の会 e-mail : mitsuo.takahashi@nifty.com

呑川の会 HP <http://home.m00.itscom.net/nomigawa/>

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>

の み が わ



令和4年度連携講座 -池上会館第二会議室

もっと知りたい！ 地元の川 ～歩く・学ぶ・春の呑川を～

記:松本 秀雄

令和5年3月1日～15日の毎週水曜日午後、3週連続講座（呑川中流ウォーク含む）を池上会館第二会議室で開催しました。呑川の会としては、新型コロナでしばらく中断していた呑川講座であったが、大田区主催の令和4年度「区民による区民のための連携講座」の一環として、2019年10月の馬込図書館以来3年振りに開催することができました。

連携講座は、区担当者の絶大なる協力を得て各回盛況のうちに終了し、さらに講座参加者のご要望により、3月22日に追加で「フォローアップの集い」も実施して頂きました。

講座には、下記に示すように数多くの人達が参加されました。（）内はフォローアップ数

- ・「講座参加総数：150名」＝「講座参加者：100(+9)名」「呑川の会スタッフ：31(+10)名」
- ・「募集対象：18才以上」「募集定員：1回あたり30名」「場所：池上会館第二会議室」

なお、平日開催で参加者が集まるか心配したが応募期限中に47名の応募がありました。また、参加者の半数は女性陣であり年齢層も40歳代から80歳代と幅広く、追加のフォローアップの集いにも9名参加され、嬉しくも4名の方々が今回呑川の会へ入会されました。



講座状況 3月1日

★1回目：3月1日（水）13:30－16:00 … 「川沿いの自然を学ぶ」

1) 呑川沿いの樹木・野花（季節を彩る草花）2) 呑川で出会える生き物（鳥・魚・昆虫）

★2回目：3月8日（水）12:30－16:00 … 「呑川の全体像を知ろう」

1) 呑川中流ウォーク（京浜急行蒲田発：12:30 ⇒ 弾正橋 ⇒ 池上会館着 14時予定）

2) 呑川中流ウォークを終えて（話し合い） 3) 呑川の流れ（源流から河口まで）

★3回目：3月15日（水）13:30－16:00 … 「川と人の関りを考えよう」「振り返り」

1) 呑川の水環境は！ 2) 歴史の中の呑川（現代までの水害と変遷を辿る）

3) 体験講座を振り返って

★4回目：フォローアップの集い：3月22日（水）13:30－16:00 場所：池上文化センター

今回の連携講座では、くらしの中を流れる川・呑川のそのすがたを再発見し、人と自然のこれからを考えよう・・・のサブテーマを掲げましたが、参加者からは、テーマに興味をもった方が32名/34名、参加してよかった方々が75%以上、などの回答をいただきました。

1) 呑川の歴史や問題点その他多くのことを知ることが出来ました。

2) 身近な呑川ですので大切にしていきたいと思いました。

3) 以前とは違う目で楽しみが増えていくように思えました

但し、今回の連携講座は従来実施していた全6回の呑川連続講座期間の半分程度であったが、盛りだくさんの内容を如何に要望に応えられるポイントとするかの絞り込み、時間的制約があるなかでの対応（話すポイントを整理した時間管理）、新しい視点の取り入れなど貴重なご意見を沢山いただきましたので、今後の活動に活かしていきたいと思えます。



呑川ウォーク 3月8日



ウォーク後話し合い 3月8日

2023年度 呑川の会定期総会開催報告

記：菱沼 公平

5月18日（木）13時30分ふれあいはすめま第3集会室で「2023年度呑川の会定期総会」が開催されました。新会員の佐瀬さん、佐久間さんが出席され、途中からは森元都議、須藤区議も参加されました。

総会は、議長に南世話人、書記に安岡世話人を選出して進行しました。自己紹介の後、高橋代表の挨拶では、長年の夢であった呑川に関する本、「わたしたちの都市河川 呑川」を河川財団からの助成金でついに完成することが出来たこと、3年間コロナ禍で開催出来なかった「呑川講座」を地域力推進課生涯学習担当の協力で3日間の講座を成功することが出来、その中で新入会員を迎えることが出来たことも大変うれしいことです。」などの話がありました。

2022年度の活動報告・会計報告がそれぞれ報告され若干の質疑後承認されました。



2023年度の活動計画は、高橋代表によって提案されました。今年度急がれる課題として「流域小学校への呑川学習支援」スタッフの人員確保です。久原・雪谷小学校など150名を超える生徒数に対する対応が難しくなっています。勉強会を含めた呑川ウォークの計画などが急がれます。昨年度毎回30名以上が参加した「呑川講座」を今年度も開催方向での準備が急がれています。都市河川ウォークでは、秋：目黒川中流、春：新川千本桜ウォークを予定しています。会員からは、ノミガワスタジオ内の「ブックボックス」(まちよみプロジェクト・大田・品川まちめぐりの会・呑川の会でシェアしている)を活用して何かできないかなどの提案がありました。活動計画決定後、高橋(光)、白石、南、橋本、安岡、松本、森、菱沼の8名が世話人に選出されました。今後世話人会の強化が求められています。

総会終了後、5月度の定例会移り、環境清掃部環境対策課から区議に対する一斉メールの内容が、須藤区議より報告されました。「5月17日午前中日本工学院付近を中心に、ボラに稚魚(5cm程度)約3,000匹浮いて売るとの通報があり、職員が現地確認をした。有害物質は検出されなかったが、溶存酸素量が低い状況だった。週末の降雨による下水越流の影響でへい死したものと考えられる。」というものでした。

その後、青木さんによるミニ学習「都市の水辺散歩」が終了時間の16時をオーバーして行われました。内容はイギリス・ロンドン周辺の水辺の話で、皆さん大変興味深く聞いていました。また珍しい海外の水辺の話を知りたいと思いました。

洗足池小学校・呑川学習支援について

記：橋本 文興

5月26日、3年生2クラス合同で、90名が総合学習「わたしのまち洗足池・呑川」の一環として説明会を実施しました。呑川学習(理科教室)には46名参加され、同時に別室で洗足池についての学習も実施されました。



スライドによる説明は約45分でしたが、生徒さんは熱心にメモし聞いていました。質問も多く寄せられました。特に生き物の説明には関心が多いと思われました。上流部では想像出来ないカット(川の色)やゴミについては驚きの声を上げていました。

事前の質問にはすべて対応しましたが、シンゴジラはなぜ呑川に来たのか？洪水とは？、そして、最後に呑川は好きですか？との質問があり、説明側にとって勉強になりました。今後、6月末に呑川のウォーク(45名参加)が予定されています。今回は実施日が急に決まったため呑川の会からは4名が参加されました。なお学校側の要望があり説明資料(A4ラッピング)を貸出しました。

春の都市河川ウォーク ～野川源流ウォーキング～

記：白石 秀朗



今春は3月25日か26日の土日に予定していたウォークが、初めて2日間続けて雨に降られ、4月1日(土)となりました。満開は少し過ぎましたが快晴で暑い位の天気、途中で具合が悪くなり二人リタイアされる程でした。

国分寺崖線の下に湧水がしみだしているハケのこの地形を生かした名勝・殿ヶ谷戸庭

園の「次郎弁天池を 散策し、武蔵国分寺公園を通り、武蔵国分寺跡で花見昼食休憩をしました。

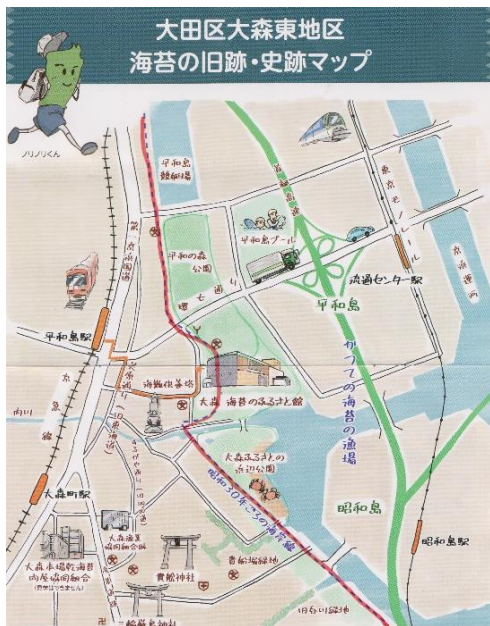
野川最源流の日立中央研究所庭園の大池が公開中止のため、崖線沿いのハケの湧水の湧き出る真姿の池やお鷹の道を巡りながら野川-不動橋から野川源流部を歩きました。国分寺市内の野川は源流域の細い流れ



で住宅地内を流れていて、川沿いを辿れないのが残念でした。小金井市の鞍尾根橋から桜並木がきれいな野川の土手中の土の道を歩くことができ、行政地域によって、こんなに違いがあるのかと感じました。川の中に入って、エビガニを獲ったり、水の中に座ったりする子供たちが一杯いて、いい環境だなと思いました。川の中を1キロ位歩いて、西之台橋から上がり西之台会館でトイレ休憩をして、前原小学校裏の旧河川を辿り、質屋坂から武蔵小金井駅に着きました。

～呑川河口・平和の森公園ウォーク～呑川

記:橋本 文興



「平和の森公園」ウォークは当初5/13(土)の予定でしたが雨天のため延期し5/17日(水)に実施しました。参加者は10名でした。

コースは、平和島駅→平和の森公園(みどりの縁側)→大森海苔のふるさと館→大森ふるさとの浜公園→内川→平和島駅でした。

「平和の森公園」は大田区が昭和59年8月15日平和宣言都市として名付けられました。平和島駅から旧東海道(美原通)をへて15分ほどで公園正門です。

公園は環七を挟んで南北に広がる面積9万9000m²あります。北側には釣りができる池や、噴水、平和の広場があり40ポイントのアスレックス、テニスコート、弓道場、相撲場、アーチェリーなど運動施設が整備されています。クスノキなど常緑樹、コナラなどの落葉樹があり夏には何種類のセミも観察できるみどりの縁側を見学しました。なお「平和の森公園」の東側には離れて「平和島公園」があります。

木陰をたどり「大森海苔のふるさと館」へ。館内は1階には大田区に唯一残る海苔船(13m)が展示され、海苔づくりの時代へスクリーンを通し案内してくれます。2階では国の重要有形民俗文化財に指定された海苔の生産用具が展示されていました。大森周辺は“海苔のふるさと”として説明されています。

海苔の養殖は日本の工業化、国際化の進展で京浜工業地帯の出現、羽田空港の建設、物流拡充目的に海岸線の劇的変化がもたらされ、300年続いたノリ養殖が昭和37年終わりを告げました。

海岸線が一変した様子は園内の写真から容易にわかります。現在の「海苔のふるさと館」の位置は当時の航空写真には海の中にマークされています。海岸線(海苔の旧跡・史跡マップ、赤線)に生じた人工島は4島(平和島、昭和島、京浜島、城南島)に及び。羽田空港島(拡張)や最近大田区に移管された令和島を含めると6島が誕生しています。

同じ階では昭和30～40年代に急激な変化を遂げた大田区沿岸の風景を大田区在住の写真家が撮った写真の展示がありました。中には呑川沿いの海苔船、海苔干し場など当時の様子が映されていました。

「大森ふるさとの浜公園」は白砂の浜辺と芝生の斜面が癒しの空間を作っています。ビーチバレー場、フットサル場が整備されていて、レストハウスも開放的です。

桜やアメリカデイゴの木(赤い花が特徴)が植えられています。レストハウスには売店もあります。

帰りは内川の左岸を通り駅に戻りましたが、途中参加された方がクロダイやボラの稚魚、エイを見つけました。また内川の護岸は「一部石張りでカキも成長している」との声がありました。



みどりの縁側(展示場)



大森ふるさとの浜公園

新入会員のご紹介

☆ 志澤 勲 ・ 志澤 裕子 （2023年3月入会）

半世紀に及ぶ仕事から解放されて、これからの自分を模索している時に、呑川の会の3月講座に参加させて頂きました。その中で皆様の呑川への愛着を肌で感じました。

お叱りを受けるかもしれませんが、現状の呑川は「蓋のない排水路」と見えることがあります。先日もボラの稚魚の大量の残骸が発生しました。でも、そのコンクリートの裂け目には可憐な花が咲き、ミニトマトも実っている。自然は身近で生きています。私たちの日常生活や意識からは遠い呑川の川辺にも降りて自然を感じたいし、親しめる呑川を作りたいです。

誠に微力ではありますがよろしくお願いします。（志澤 勲）

ラジオ体操でお知り合いになった白石さんの魅力で会員になりました。

呑川には都会を流れる川の哀愁を感じることもありますが、将来に少しでもこの自然を残し伝えたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（志澤裕子）

☆ 佐久間 芳夫 （2023年5月入会）

新入会員の佐久間芳夫です。1年半前に、横浜から池上に移住してきました。幼少時から住んでいたのは、金沢八景。今ではシーパラダイスで有名ですが、小さな入り江では時折ボラたちが跳び上がり、それを一羽のアオサギがジッと狙っている。そんな冬の風物詩がありました。

池上では幸運なことに、呑川中流の川端が新居となりました。北は池上橋から南は霊山橋近くまで、本門寺下を悠然と走る呑川が眼前に。しかもそこにはボラが巨大な群れをなして泳いでいるのではないか。冬場には、カモたちに混じってカワウやらコサギ、ダイサギ、アオサギまでやってくる。ある時期、呑川は彼らのグランドショーの舞台のようでありました。以来、朝のラジオ体操で知己を得た皆さんに様々なことを教えていただきました。ボラのハラ光りもその一つ。「わたしたちの都市河川—呑川」を手にしてからは、呑川の奥の深さをつきつけられている毎日です。ご指導ください。

☆ 佐瀬 優子 （2023年3月入会）



3月に開催された連続講座を受講したことをきっかけに、このたび入会いたしました。

池上に住むようになって約12年、現在は妙見橋の近くに住んでいます。大学で土木工学を専攻しており、河川のことそれなりに勉強してきたはずなのですが、まだまだ知らないことばかりです。呑川に熱い想いを寄せる皆さんと一緒に、楽しく活動しながら学んでいけたらと思います。

どうぞよろしくお願いします。

呑川こいのぼり大会 5月2日～6日

記：安岡 達郎

毎年恒例の、呑川のこいのぼり大会は、池上小学校、池上第二小学校の新2年生の子供たちが作り始めて、6回目になりました。

5月2日、池上特別出張所でロープにとりつけた300匹以上のこいのぼりを、夕方呑川の会の有志が霊山橋から妙見橋の水面に飾り付けました。5月7日までの予定でしたが、悪天候のため、6日(土)で終了しました。

JCOM での告知ニュース、展示取材ニュースや、いろいろな方がインターネットで紹介していただき、五月連休の呑川の風物詩になりました。



池上小学校



池上第二小学校



「呑川の会」当面の活動日程

記：高橋 光夫

*「会場確保」のため変更することがあります。担当者からのメール連絡にご注意ください。

<p>「洗足池小学校・呑川ウォーク」</p> <p>2023/6/23(金)</p> <p>*雨天予備日は 2023/6/28(水)</p> <p>集合時間他は近日確定</p> <hr/> <p>*小学3年生約45名を案内して歩きます。</p> <p>*ガイド役・6名 付き添い役・6名合計12名以上がスタッフとして必要です。</p>	<p>*「付き添い役で参加も歓迎です。</p> <p>「呑川上流部」や、「呑川スタート地点」、「東京工業大学構内」など見たことが無い方も、是非ご参加ください。</p> <p>(*今回担当スタッフ：森 巖まで</p> <p>メール等でご連絡ください。</p> <p>Mail: otonarisan500@nifty.com</p>
<p>「呑川の会・6月定例会」</p> <p>2023/6/17(土)13:30～16:00</p> <p>「ふれあい はすぬま」第5教室</p> <hr/> <p>*「世話人会」は6/9(金) 10:00～</p> <p>「生活センター」予定</p>	<p>「呑川ネット・定例会」</p> <p>2023/6/22(木)10:00～12:00</p> <p>「生活センター」Gr 活動室</p> <hr/>
<p>「呑川の会・7月定例会」</p> <p>2023/7/20(木)13:30～16:00</p> <p>「ふれあい はすぬま」第三会議室</p> <hr/> <p>*「世話人会」は7/14(金) 10:00～</p> <p>「ふれあい はすぬま」第一集会室</p>	<p>「呑川の会・8月定例会」</p> <p>2023/8/19(土)13:30～16:00</p> <p>「ふれあい はすぬま」第五会議室</p> <hr/> <p>*「世話人会」は8/12(土) 10:00～</p> <p>「ふれあい はすぬま」第二集会室</p>

呑川の会・年会費 2000円の納入のお願い

ご多忙の中恐縮ですが、定例会・総会ですでに支払われている方を除き、令和5年度・会費2,000円をお支払いくださるようお願いいたします。

*郵便振替の場合：口座番号 00170-8-55114 呑川の会

*銀行振り込みの場合：ゆうちょ銀行 019店 ゼロイチキューテン

口座番号 当座 0055114 受取人 呑川の会

(編集後記)

橋本 文興

コロナ禍は定例会の会場も制限を受けましたが、5類になり通常の会合が可能になってきました。呑川の会では、定例会に「ミニ学習」のタイムを設けています。先月は青木さんが「英国の緑道(川の側道)」をスライドで説明され、水運としての歴史や側道の活用状況を知ることができました。今後も河川の参考となる話を期待しています。「ミニ学習」には、是非多くの方々の参加を期待しています。